



米国タイトオイル・ガス資産の 取得について

2025年12月18日
石油資源開発株式会社
(証券コード: 1662)

米国タイトオイル・ガス資産の取得について

- 石油資源開発株式会社 (JAPEX) は、在外孫会社である Peoria Resources, LLC (Peoria) が管理する Peoria Resources Acquisition Company, LLC (AcquCo) を通じた Verdad Resources Intermediate Holdings LLC (VRIH社) の全持分の取得によるタイトオイル・ガス資産（以下、本資産）の取得を決議。譲渡実行日は、所定の手続きを経て2026年2月末ごろの予定。

石油資源開発株式会社
(JAPEX)

▼
Japex (U.S.) Corp.
(JUS)

▼
Peoria Resources, LLC
(Peoria)

▼
Peoria Resources
Acquisition Company, LLC
(AcquCo)

▼
Verdad Resources
Intermediate Holdings LLC
(VRIH社)

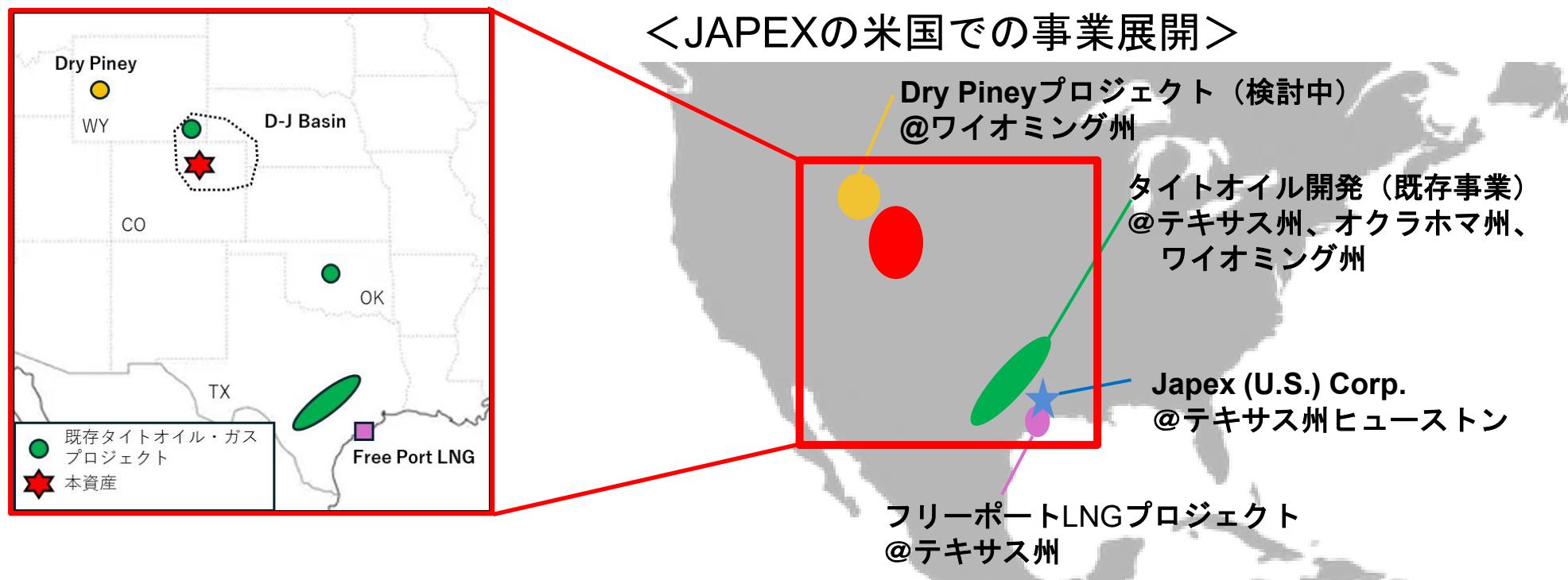
＜本資産の概要＞

項目	内容
油ガス 生産比率	軽質原油 : 49%、 NGL (Natural Gas Liquids) : 24%、 天然ガス : 27%
主な 取得資産	現在生産中の坑井 : 1,000本以上 今後開発予定の坑井 : 1,000本以上
鉱業権付与 の形態	石油・ガスリース契約
権益比率	鉱区毎に異なる
販売・輸送	米国内の卸売り事業者に販売

本資産の所在地について

項目	内容
本資産の所在地	コロラド州北東部（一部権益はワイオミング州南東部） デンバー・ジュールズバーグ盆地

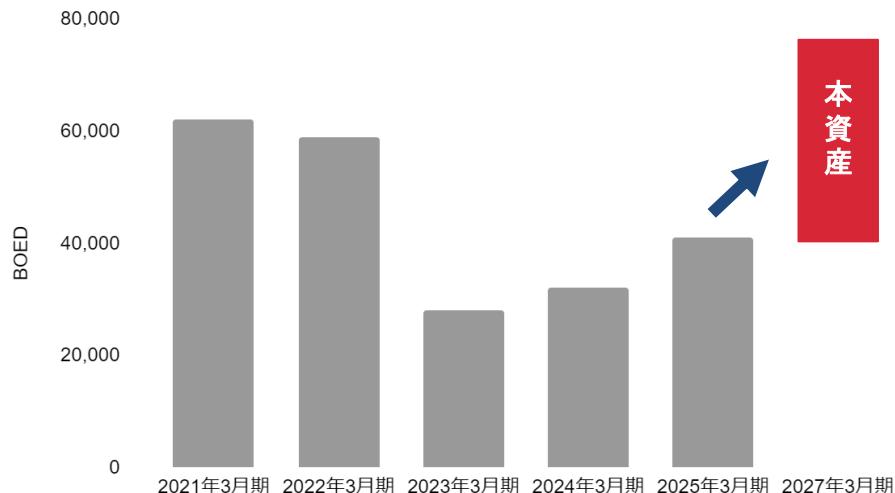
今回取得した「タイトオイル・ガス開発」（オペレーター資産）
@コロラド州、ワイオミング州



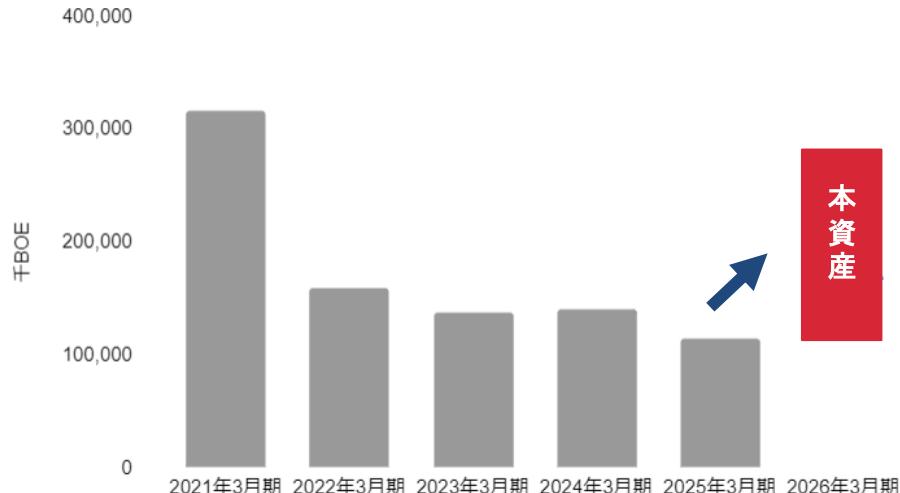
本資産で期待される生産量および確認埋蔵量について

- 生産量は約2倍、確認埋蔵量は約3倍増の見通し

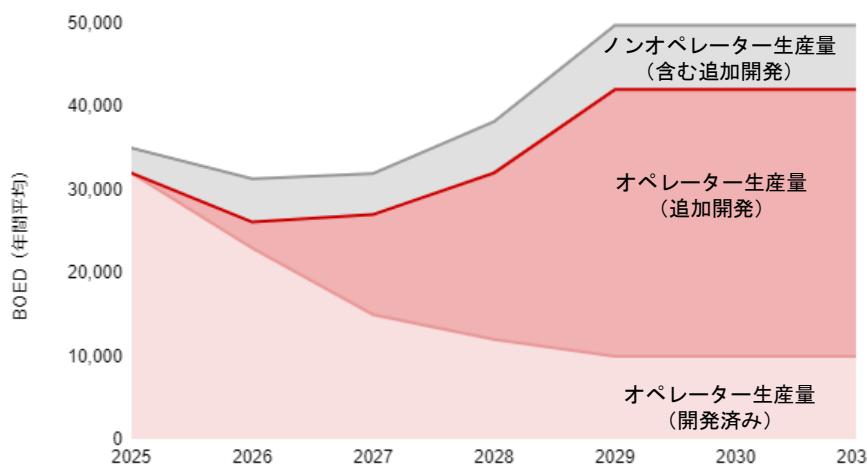
JAPEX連結での生産量の推移見通し（イメージ）



JAPEX連結での確認埋蔵量の推移見通し（イメージ）



本資産の生産プロファイル（イメージ）



オペレーター事業としての今後の取り組みについて

- 今後、所定の手続きを経て、2026年2月末ごろにVRIH社の持分取得を予定。
- Peoriaの社員が生産・開発を主導し、オペレーター事業を継承予定。2026年2月末までに既に採用済みのPeoriaの社員に加え、主に売主の元で操業に従事していた社員に対しても採用活動を行い、本資産の開発・操業人員に必要な約50名を確保する予定。
- 2026年より2030年代前半にかけて、継続的に開発を推進する計画。

＜Peoriaを通じた本資産の操業体制（イメージ）＞

役割	概要
CEO	Greg West氏。Treadstone Energy Partners元CEO。それ以前はBPに20年勤務。
CTO	David Kita氏。Treadstone Energy Partnersの元Vice President of Subsurface。それ以前は、Castleton Resources、Vine Oil & Gas、BPで勤務。
操業部門	掘削・仕上げ、生産、営業、HSE担当等、約15名。
技術部門	地質、貯留層エンジニア等、約15名。
総務部門	規制対応、鉱区管理担当等、約10名。
経理部門	会計担当等含む、約10名。

(参考) JAPEXの米国事業展開について

コア資産構築の将来図

- 収益源となるタイトオイル開発のオペレーター資産を獲得し、将来的にガス資産の取得及びフリーポートLNGとの連携を目指す
- Japex (U.S.) Corp. (JUS) / Peoria Resources, LLCで培った北米での事業運営ノウハウをDry Pineyプロジェクトへ応用
- Dry Pineyプロジェクトで得たCCS事業をはじめとするビジネスの経験をE&P事業に還元

